

**名称と時期** 院政期文化 12世紀

**特色** ①文化の地方への普及 <例>浄土教の地方普及←武士・<sup>ひじり</sup>聖 (民間の布教者)の活動  
 ②武士の台頭を反映 ③庶民文化の萌芽

**建築** 1 中尊寺金色堂 [岩手]…奥州 2 平泉 3 藤原清衡 一面に黒漆・金箔  
 ※須弥壇下に藤原3代(清衡・基衡・秀衡)のミイラ

4 毛越寺 [岩手]…平泉 藤原基衡 庭園のみ現存

5 白水阿弥陀堂 (願成寺阿弥陀堂) [福島]…奥州藤原氏と関連 金色堂を模す

6 富貴寺大堂 [大分]…阿弥陀堂 九州現存最古の建造物 “<sup>たぎ</sup>露の大堂”とも

7 巖島神社 社殿 [広島]…古来の航海神 平氏の帰依で発展 “安芸の宮島”

8 三仏寺投入堂 [鳥取]…修験者の行場

9 浄瑠璃寺本堂 [京都南部]…現存唯一の九体阿弥陀堂 内部に九体阿弥陀仏  
 ほかに、鶴林寺常行堂・太子堂 [兵庫] など

**彫刻** 10 白杵の磨崖仏 [大分]…日本最大 60体以上

ほかに、大山寺阿弥陀堂 [鳥取] 阿弥陀如来像、三千院 [京都] 阿弥陀三尊像

**絵画** 11 絵巻物…大和絵の技法 絵と詞書(ことばがき) 物語や説話に題材

<例> 『12 源氏物語絵巻』…藤原隆能(絵)・藤原伊房(書)作 <sup>ひきめひきほ</sup>引目鉤鼻・<sup>ひきめひきほ</sup>吹抜屋台

『13 伴大納言 絵巻』…14 応天門の変 を題材 常磐光長作

『15 信貴山縁起 絵巻』…信貴山朝護孫寺 [奈良] <sup>ひじり</sup>聖 命蓮の奇跡譚を題材に

『16 鳥獣戯画』…17 高山寺 [京都] 所蔵 伝 18 鳥羽僧正 (覺猷) 作 動物の擬人化他  
 ほか、『<sup>てんわ</sup>天河寺縁起』、『<sup>びんぼ</sup>病草紙』、『<sup>ねんちん</sup>年中行事絵巻』(常磐光長 模本のみ現存)

装飾経 <例> 『19 扇面古写経』…20 四天王寺 [大阪] 所蔵 下絵に庶民の生活

『21 平家納経』…22 平清盛が巖島神社に奉納 高度な装飾技術

**書道** 法性寺流…関白忠通の書風 世尊寺流に力強さを加える

**芸能** 23 今様…民間の流行歌謡 七五調・四句が多い、<sup>しらびょうし</sup>白拍子 (男装の遊女) の舞

→ 『24 梁塵秘抄』 (25 後白河法皇 が編纂)

極楽浄土のめでたさは <sup>あだ</sup>一つも空なることぞ無き <sup>たえ のり</sup>吹く風立つ波鳥も皆 妙なる法をぞ唱ふなる

26 田楽…農村の労働歌舞 (<例> 田植) →都市で芸能化

27 猿楽…土俗的芸能の総称 中国伝来の <sup>さんかく</sup>散楽に由来

※ 『29 新猿楽記』…猿楽見物の人々を描く 11C半ば成立 ※大名田堵も登場

30 催馬楽…民間の歌謡に歌詞を取り、雅楽の曲調に当てはめる

他に <sup>かぐら</sup>神楽(神事芸能)・<sup>くぐつ</sup>声明・<sup>くぐつ</sup>傀儡(歌に合わせる人形回し) など

**文芸** 歴史物語…和文による物語風歴史書 ※『本朝世紀』(藤原通憲)など漢文体の史書もあった

<例> 『<sup>32</sup>栄華(花)物語』…編年体 宇多～堀河天皇 道長の栄華を賛美 赤染衛門作?

『<sup>33</sup>大鏡』…紀伝体 文徳～後一条、藤原冬嗣～道長 道長に批判的

『<sup>34</sup>今鏡』…紀伝体 後一条～高倉天皇 →”四鏡”(大鏡・今鏡・水鏡・増鏡)へ

軍記物…戦記文学 ※『<sup>35</sup>将門記』(平将門の乱を題材 100C成立?)はその先駆

<例> 『<sup>36</sup>陸奥物語』(陸奥物語)…<sup>37</sup>前九年合戦を題材

説話文学…庶民の生活・信仰など 仏教・儒教的色彩

<例> 『<sup>38</sup>今昔物語集』…源隆国作 和漢混淆文

天竺(インド)・震旦(中国)・本朝(日本)の1000余の説話

『<sup>39</sup>江談抄(水言抄)』…<sup>40</sup>大江匡房の談話を筆録

※**神仏習合思想**の発展 <sup>41</sup>本地垂迹説 …神は仏が仮の姿で現れたものとする 平安時代に発展

<例> 天照皇太神=大日如来 八幡神=阿弥陀如来

**作業** 図表110ページを見て地名の位置を示しなさい。



**時代順問題練習** <センター2014年B追試験より>

I ②浄土教が流行し、阿弥陀浄土を表現した平等院鳳凰堂が造られた。11世紀

II ③『源氏物語絵巻』や『信貴山縁起絵巻』などの絵巻物が作られた。12世紀

III ①紀貫之らにより、勅撰の和歌集である『古今和歌集』が編まれた。10世紀

**名称と時期** 院政期文化 12世紀

**特色** ①文化の地方への普及 <例>浄土教の地方普及←武士・<sup>ひじり</sup>聖(民間の布教者)の活動  
②武士の台頭を反映 ③庶民文化の萌芽

**建築** 1. \_\_\_\_\_ [岩手]…奥州 2平泉 3藤原清衡 一面に黒漆・金箔  
※須弥壇下に藤原3代(清衡・基衡・秀衡)のミイラ

4毛越寺[岩手]…平泉 藤原基衡 庭園のみ現存

5白水阿弥陀堂(願成寺阿弥陀堂)[福島]…奥州藤原氏と関連 金色堂を模す

6 \_\_\_\_\_ [大分]…阿弥陀堂 九州現存最古の建造物 “<sup>きよ</sup>露の大堂”とも

7巖島神社社殿[広島]…古来の航海神 平氏の帰依で発展 “安芸の宮島”

8三仏寺投入堂[鳥取]…修験者の行場

9浄瑠璃寺本堂[京都南部]…現存唯一の九体阿弥陀堂 内部に九体阿弥陀仏  
ほかに、鶴林寺常行堂・太子堂[兵庫]など

**彫刻** 10白杵の磨崖仏[大分]…日本最大 60体以上

ほかに、大山寺阿弥陀堂[鳥取]阿弥陀如来像、三千院[京都]阿弥陀三尊像

**絵画** 11 絵巻物…大和絵の技法 絵と詞書(ことばがき) 物語や説話に題材

<例> 『12源氏物語絵巻』…藤原隆能(絵)・藤原伊房(書)作 引自鈎算・<sup>ひきめかぎはな</sup>吹抜屋台

『13 \_\_\_\_\_ 絵巻』…14 応天門の変を題材 常磐光長作

『15 \_\_\_\_\_ 絵巻』…信貴山朝護孫寺[奈良] <sup>ひじり</sup>聖 命蓮の奇跡譚を題材に

『16 鳥獣戯画』…17 高山寺[京都]所蔵 伝 18 鳥羽僧正(寛猷)作 動物の擬人化他

ほか、『<sup>こまわ</sup>粉河寺縁起』、『病草紙』、『年中行事絵巻』(常磐光長 模本のみ現存)

装飾経 <例> 『19 \_\_\_\_\_』…20 四天王寺[大阪]所蔵 下絵に庶民の生活

『21 平家納経』…22 平清盛が巖島神社に奉納 高度な装飾技術

**書道** 法性寺流…関白忠通の書風 世尊寺流に力強さを加える

**芸能** 23 \_\_\_\_\_ …民間の流行歌謡 七五調・四句が多い、<sup>しろひょうし</sup>白拍子(男装の遊女)の舞

→ 『24 梁塵秘抄』(25 後白河法皇が編纂)

極楽浄土のめでたさは 一つも空なることぞ無き 吹く風立つ波鳥も皆 <sup>たえ</sup> <sup>のり</sup> 妙なる法をぞ唱ふなる

26 \_\_\_\_\_ …農村の労働歌舞 (<例>田植) →都市で芸能化

27 \_\_\_\_\_ …土俗的芸能の総称 中国伝来の <sup>きんがく</sup> 散楽に由来

※ 『29 新猿楽記』…猿楽見物の人々を描く 11C半ば成立 ※大名田堵も登場

30 催馬楽…民間の歌謡に歌詞を取り、雅楽の曲調に当てはめる

他に <sup>かぐら</sup> 神楽(神事芸能)・声明・<sup>くわんご</sup> 傀儡(歌に合わせる人形回し)など

**文芸** 歴史物語…和文による物語風歴史書 ※『本朝世紀』(藤原通憲)など漢文体の史書もあった

<例> 『<sup>32</sup>栄華(花)物語』…編年体 宇多～堀河天皇 道長の栄華を賛美 赤染衛門作?

『<sup>33</sup>\_\_\_\_\_』…紀伝体 文徳～後一条、藤原冬嗣～道長 道長に批判的

『<sup>34</sup>今鏡』…紀伝体 後一条～高倉天皇 →”四鏡”(大鏡・今鏡・水鏡・増鏡)へ

軍記物…戦記文学 ※『<sup>35</sup>将門記』(平将門の乱を題材 10C成立?)はその先駆

<例> 『<sup>36</sup>\_\_\_\_\_』(陸奥物語)』…<sup>37</sup>前九年合戦を題材

説話文学…庶民の生活・信仰など 仏教・儒教的色彩

<例> 『<sup>38</sup>\_\_\_\_\_』…源隆国作 和漢混淆文

天竺(インド)・震旦(中国)・本朝(日本)の1000余の説話

『<sup>39</sup>江談抄(水言抄)』…<sup>40</sup>大江匡房の談話を筆録

※**神仏習合思想**の発展 <sup>41</sup>\_\_\_\_\_…神は仏が仮の姿で現れたものとする 平安時代に発展

<例> 天照皇太神 = 大日如来 八幡神 = 阿弥陀如来

**作業** 図表112ページを見て地名の位置を示しなさい。



**時代順問題練習** <センター2014年B追試験より>

- I 浄土教が流行し、阿弥陀浄土を表現した平等院鳳凰堂が造られた。
- II 『源氏物語絵巻』や『信貴山縁起絵巻』などの絵巻物が作られた。
- III 紀貫之らにより、勅撰の和歌集である『古今和歌集』が編まれた。